

部会報告に対する意見交換

▶公園・地域づくり部会

- ・宮前区の公園は7区でも多い方なので、これらの公園がいきいきとした場になれば、区民の宝になると思います。
- ・私も子育てが終わってから公園に行かなくなりました。通りがかりでも楽しそうな企画があれば、参加できるのでは？



▶宮前区の宝さがし部会

- ・楽しみ方の分類は面白いと思います。「やってみよう」がたくさん出てくると良いですね。
- ・中学校区単位くらいで、地域みんなで宝物を探してもらえようような動きにしたいです。
- ・身近な地域での宝と区全体の宝の2本立てで考えられたらいいと思います。

第1期宮前区区民会議の提案に対する取組状況について

高齢者福祉

- ・神木本町自治会の第1回のお茶飲み会（11月）に約20名の参加がありました。
- ・8月末から区内65歳以上の高齢者の「元気度チェック」調査を行っています。
- ・全市で75歳以上のひとり暮らし高齢者の健康状態等の調査が始まりました。

子育て支援

- ・子育て支援センターの土曜開所（9月）に多くの父親の参加がありました。
- ・宮前第4地区民生委員・児童委員協議会が、子育て支援の場として「すくすくけやき平」を9月から開設しました。
- ・平成20年度親と子の子育て応援セミナーを9月から11月に5回開催しました。

地域コミュニティ

- ・さぎ沼商店会と協働でオリジナルエコバック教室及びコンテストを開催しました。
- ・西有馬小学校区、平小学校区で地域安全マップづくりが実施されます。
- ・1月～3月にシニア世代を対象とした地域コーディネーター講座を開講します。

地域防災

- ・8月に季刊防災ニュース第1号を発行。町内会回覧等を通じて広報しています。
- ・今年度の防災フェアは市民館で1月20日に開催。様々な展示や講座を企画中です。
- ・カンガルー通信9月号に防災出前講座の記事を掲載しました。
- ・防災推進員の研修を当初10月の予定を変更し、1月から開催する計画です。

【委員意見】

- ・防災出前講座は区民が20人程集まれば、時間帯等もできるだけ要望に答えて開催するという事なので、広く宣伝して、多くの団体にやってもらいたい。
- ・ご近所サークルのお茶飲み会を長続きさせるコツは、手づくりの食事や手工芸教室など、楽しみを増やすような工夫です。

区民会議の詳細、開催スケジュール等は、区ホームページからご覧になれます

<http://www.city.kawasaki.jp/69/69miyamae/miyamae/index.htm>

意見大募集

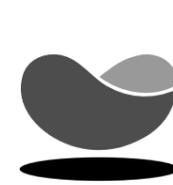
区民会議がより実のある議論の場となるよう、区民のみなさまから広く意見を募集いたします。今までの会議の審議内容や、議事運営の方法、また、身近にある地域の課題についてご意見をお寄せください。持参、郵送、ファックス、メールでお送りください。書式は自由です。たくさんのご意見をお待ちしています。

区民会議の全体会、専門部会の会合は基本的に全て公開となっており、傍聴が可能です。ご興味のある方はぜひお越し下さい。

今後の会議予定やこれまでの検討経過などの情報は区のホームページからご覧になれます。

申込み・問合せ 〒216 8570 宮前区役所企画課

電話:044(856)3133、FAX:044(856)3119、メール 69kikaku@city.kawasaki.jp



みやまえ

第2期

区民会議だより

第8号

http://www.city.kawasaki.jp/69/69soumu/home/kuminkaigi/kaigi_01.htm

平成21年1月1日

インデックス

- ・20年度 第3回区民会議・・・1面
- ・部会審議状況・・・2・3面
- ・第1期提案取組状況ほか・・・4面

編集・発行 宮前区役所企画課

TEL 044-856-3133

FAX 044-856-3119

宮前区区民会議 向丘地区で初めての会議開催！



平成20年度第3回宮前区区民会議が去る11月19日（水）、向丘出張所2階大会議室で開催されました。

第2期の3回目となった今回の会議では、より多くの区民に区民会議やその取組を知ってもらおうという目的で、初めて向丘地区で開催しました。当日は4名の傍聴者があり、会議の終了後には、来場者から意見や感想をいただく一幕もありました。

ご来場いただいたみなさまありがとうございました。

会議では、前回の会議以降に進められた第1期区民会議からの提案に対する取組状況報告（4P掲載）、公園・地域づくり部会、宮前区の宝さがし部会の審議状況の報告（2～3P掲載）がありました。その他、今年度の区民会議フォーラムの企画内容等について、活発な意見交換が行われました。

区民会議フォーラム

今年度は3月15日（日）開催
参加型の試みを

今年度の区民会議フォーラムの企画について審議し、開催日を来年3月15日（日）午後と決定しました。

また、今期は1テーマ2年間をかけたの検討であることなども踏まえ、単なる報告型のフォーラムではなく、参加した区民の声や意見をより取り入れ、一緒に話し合えるよう、分科会形式のワークショップ開催の案が出されました。

今後は企画部会を中心に、参加型で区民会議を身近に感じてもらうための企画を検討していくことで合意しました。

向丘地区の方々からの声

会議終了後、会場からの感想・意見より

- ・防災ニュースは素晴らしいと思います。詐欺等が多発する昨今、ぜひ防犯に関する情報も積極的に流していただきたい。
- ・公園利用は利害関係がぶつかることもあり難しい。話し合う場がなかなか持てないのが現状です。区民会議の議論をもっと広く、知ってもらう必要があります。
- ・県立東高根森林公園をもっと活用すべきだと思います。
- ・宮前区の宝物は何か目玉がほしいところです。
- ・区民会議の認知度をあげるために、今回のような試み（向丘地区での開催）はどんどん続けてほしい。

トピックス

第1期宮前区区民会議の提案で、区民会議委員の鈴木恵子さんが中心となっている「ご近所サークル」の取組を紹介した書籍が発行されました。

「つながる 信頼でつくる地域コミュニティ」

筒井書房 読売新聞編集部編





第2回全体会以降の審議経過

第3回部会 9月12日(金)

理想とする公園像について、望ましい施設
維持管理のあり方
地域での使われ方
の3つの観点から意見交換しました。

第4回部会 10月10日(金)

参考事例として、以下の団体の関係者を招き、ヒアリングを行いました。
鷲ヶ峰公園管理運営協議会
つくし野「公園あそび応援隊」(町田市)

第5回部会 10月27日(月)

理想とする公園像、解決すべき課題について検討を進めました。

部会審議から...

理想とする公園像とは？

施設...地域のニーズや事情によって異なるのではないかな。
維持管理...地域の多様な世代が無理なく主体的に関わっている。
使われ方...多世代が自由に利用する、地域のイベント・交流の場。

解決すべき課題

維持管理...
・活動者が少なく、固定化・高齢化の傾向
・公園緑地管理運営協議会の存在、また自主的な公園利用のルールを話し合う場としての役割などが知られていない。
使われ方...
・利用層の隔たり、情報発信の不足
・利用者のマナー(ごみ・タバコ・ペット等)

解決策の方向性(今後の検討課題)

- ・公園利用者自身によるルールづくりのしくみと地域での合意形成
- ・公園内への掲示板設置による情報発信
- ・維持管理だけでなく企画を行う組織の確立
- ・公園からのまちづくりの必要性のアピール

など



田邊部会長

部会テーマ関連トピック：公園維持管理事例(第4回部会より)

鷲ヶ峰公園管理運営協議会
・通称：タコ公園
・稗原団地自治会と老人会で組織し、除草清掃・花壇づくり・餅つき大会などの活動を実施
(部会ゲスト：板津昌且氏)

つくし野「公園あそび応援隊」(町田市)
・近隣住民の有志による活動。あえて組織化せず、やりたい・やれる人が参加
・ラジオ体操・防犯パトロールなどを実施
・学校と連携し、保護者も活動に参加
(部会ゲスト：江頭秀夫氏)



写真：稗原団地自治会ホームページより
<http://hiedan.web.fc2.com/index.htm>



公園あそび応援隊が活動している
つくしのセントラルパーク



第2回全体会以降の審議経過

第3回部会 9月22日(月)

宝物となりうる資源の分類・整理
・4～5の大分類が良いのではないかな。
・観たい、買いたい、住みたい
「宝物」や「顔」の定義などについて
・宝は秘密・秘伝のものもあるが、顔は外から見ても明らかでなければならない
・資源を宝物に、宝物を顔に「押し上げていく」

第4回部会 10月24日(金)

宮前区の資源の分類(案)の検討
大分類5つ

自然...緑・水・生物・植物など
歴史文化...史跡・伝承・芸術など
くらし・産業...産物・農業・工業など
ふれあい・交流...イベント・スポーツ・市民活動など
まち・施設...商店街・ランドマーク・建築・施設など

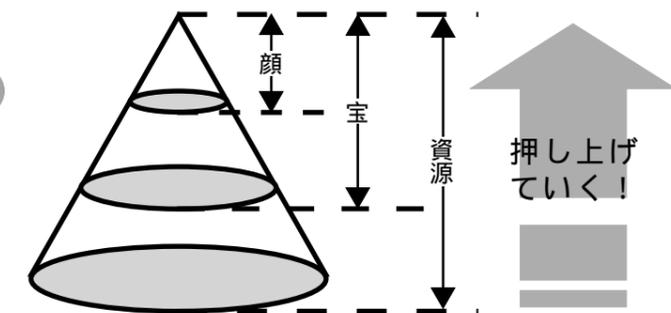
楽しむ方法
みたい(見・観)・ききたい(聞・聴)
買いたい・食べたい
やってみたい など

宝物や顔への押し上げに関する意見交換

部会審議から...

資源を宝物や顔とするには？

- ・宝物(顔)づくりを宮前区を活性化させる運動と捉えよう。
- ・子どもが楽しめるような演出をして、参加をしてもらおう。
- ・宝物の発掘のプロセスを区民や地域で共有しよう。(ただの資源紹介で終わらない)
- ・郷土愛を育て、定住率UPを目指そう。



顔...区外にも知られている
区民の誇り・シンボルになっている
宝物...区民に知られている
区民に大切にされている
資源...区民が知らない/知られていない

解決すべき課題

- ・区の「宝」「顔」となりうる資源を地域(区内)で共有し、区外に広くPRする必要がある。

解決策の方向性(今後の検討課題)

- ・資源を宝物に、宝物を顔に押し上げていく具体的なプロセス(小地域、町会、学校区など身近な地域でみんなで作業!)
- ・宝物・顔に押し上げた資源を区内外にPRするための手法 など



高木部会長

部会テーマ関連トピック：宮前区観光協会

平成19年6月に設立された宮前区観光協会は、個人、団体、法人の会員で成り立っており、宮前区の観光資源をより広く知ってもらうための活動を展開しています。宮前銘菓の発掘と支援、観光情報ボードの設置やガイドツアーなどの事業に取り組んでいます。

平成20年度からは、観光情報取材記者の募集を行ったほか、観光協会特約店を広く区内から募集中です。なお、区民会議にも代表として鈴木和子委員が参加しています。

問合せは区役所地域振興課まで
電話：044(856)3135